

E-19 集中排塵方式に関する研究(オ7報)

○名古屋女大家政 松山 正考

各種掃除法による塵埃の挙動

三重大農 森 邦男

目的

現在各家庭における日常の掃除方法として、ほうきまたは電気掃除機による方法が考えられる。しかしアンケート結果より実際に電気掃除機だけで掃除をしている家庭は少なく、その理由としてほうきの方が電気掃除機よりきれいになると考えている人が多数いた。今回はほうきによる方法、電気掃除機による方法、および掃除機のブローワを室外に設置する集中排塵方式による方法等の掃除時に室内にまき上がる塵埃量をDIGITAL DUST INDICATOR, 労研式塵埃計等を用いて測定(衛生的効果を調べる)。

方法

①実験対象とする部屋の空気中の塵埃量を掃除前にD.D.Iと労研式塵埃計で測定する。次に掃除の方法としてほうきによる方法、電気掃除機による方法および集中排塵方式による方法もとりあげ、掃除時、掃除後10分、20分、30分、60分の各時点で空中に舞い上っている塵埃量を測定し、塵埃の浮遊状態を調べた。

②労研式塵埃計とD.D.Iで電気掃除機の排気口から集塵袋を通して出てくる塵埃を測定し、掃除開始前の状態と比較し、塵埃の量、大きさ等を測定(どのタイプの集塵袋がすぐれているか調べた)。

結果

電気掃除機の排気口から集塵袋を通して出てくる塵埃は掃除前の部屋空気中に浮遊している塵埃に比し非常に多く、そのうち集中排塵方式は衛生的と考えられる。